

事業所名

児童発達支援センター楽田RAKUDA

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念	常に子ども達の心に寄り添い、誠実さをもって、福祉サービスを展開する				
支援方針	ゆたかに生きていくためにこころと体と生活の土台をつくる				
営業時間	8時	30分から	15時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会、活動、給食などタイムスケジュールに沿って過ごし一日の生活のリズムを形成していく。</li> <li>・食事、排泄、衣類の着脱などは子どもの発達段階に応じてこまめに目標設定をして生活に必要な基本的技能の獲得を目指していく。</li> <li>・ミキサー食、刻み食など子どもの状況に合わせた食形態で給食を提供する。注入が必要な子どもに対しては看護師が注入を行う。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光遊びやスライム遊びなど様々な感覚を使った遊びを行い楽しみながら感覚の活用へつなげていく。</li> <li>・理学療法士による個別療育を行い、専門的な助言を受け支援を行う。</li> <li>・理学療法士の助言を受けながら歩行器や車いすなど子どもに合った移動方法を検討し、活動の中に取り入れ移動能力の向上をはかる。</li> <li>・子どもの状態に合わせて補助道具や補助手段を活用して正しい姿勢で活動や食事が行えるようにする。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知育遊びや制作活動の中で見たり、触れたり、操作したりして体験しながら色、形、数などの概念を形成していく。</li> <li>・手や指先を使った活動や遊びを行い認知機能の発達を促していく。</li> <li>・光遊びや粘土遊び、スライム遊びなど感覚を使った遊びをしながら認知機能の発達につなげていく。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードやサインなど様々な手段を取り入れながらやり取りを行い子どもからの発信を促していく。</li> <li>・子どもが興味を持ったことを言葉にして伝えて言葉の理解を拡げていく。</li> <li>・ごっこ遊びなどを通して様々なやり取りを行いコミュニケーションの経験を拡げていく。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの児童館や図書館などへ行き交流をする。</li> <li>・簡単なルールのある遊びを行い人との関わり方やルールに沿って行動することなど社会性の獲得につなげていく。</li> <li>・共感的な声掛けや好きな遊びを職員と一緒にを行うなど子どもの気持ちに寄り添った関わりをしながら子どもとの信頼関係を形成していく。</li> </ul>			
家族支援	年2回の定期的な面談、希望者への面談を随時実施、	移行支援		就園予定の保育園への体験入園、近隣の児童館の利用、地域の保育園との交流	
地域支援・地域連携	保育園交流、尾張旭市主催の健診事後教室へ職員の派遣、尾張旭市の自立支援連携会議と発達支援連携会議への参加	職員の質の向上		社内研修(虐待防止研修、救急救命講習、交通安全講習など)、愛知県社会福祉協議会主催の障害者(児)福祉関係職員基礎研修、キャリアパス研修などの研修会の受講、その他療育に関わる研修への参加	
主な行事等	入園式、親子遠足、七夕、プール、敬老参観、運動会、クリスマス会、豆まき、ひな祭り、卒園式、内科検診、歯科検診、母の日制作、父の日制作、親子参観				